第4回北方学園開校準備委員会 会議要旨

とき 令和3年2月18日ところ 庁舎3階 委員会室

※会議の主な内容は以下のとおり

事務局:定刻どおり第4回北方学園開校準備委員会を始める旨を告げる。(9時30分開始)

教育長:会議に先立ち、あいさつを述べる。

事務局:次第に基づき、各専門部会等での協議内容について報告を求める。

(各部会長報告)

事務局:各部会長の報告に関して意見を求める。

(主な協議内容)

- ○校務分掌について、生徒指導に関する教員配置の考え方をお聞きしたい。
- ⇒今は小学校、中学校それぞれに1人担当教員が配置されています。学園開校時にも同様に 前期課程及び後期課程にそれぞれ1人の教員を配置することになりますが、お互いに連携 して協力し合うなど具体的な分担などは開校後に柔軟に対応することになります。
- ⇒今後、生徒指導や不登校対応などは、タブレット端末を活用するなど在宅での対応も含めて新たな方法を模索していきます。
- ○地域と連携した「北方科」について、子どもの学習への動機付けになると思います。また、単に地域学習をするのではなく、子どもから地域への提案を行うことや参観日で北方科の授業を見てもらうなど、双方向の取り組みができるとよいと思います。
- ⇒北方町に新たに赴任する先生にも「北方科」の授業が取り扱いやすくなるように、タブレット端末の情報を常に最新のものにアップデートするなど、機器の活用を図ることができるとよいと思います。
- ⇒コミュニティ学園の取り組みとの連携も大切だと思います。学園構想の協議の進捗に合わせて、できることから協力していきます。
- 事務局:次に「今後の方針について」説明する。今回の開校準備委員会での決定事項として 「制服」「校章」「日課」「校区」「部活動」「町立進学塾」の6項目が提案された。このこと に関して意見を求める。

(主な協議内容)

- ○北方学園の責任者は「校長」になるのか「学園長」になるのか、どうなるのですか。
- ⇒法令上、正式には「校長」となります。ただし、通称名としてなら「学園長」という呼び 方もできます。

- 〇ネクタイ・リボンについては、開校準備委員会で決定するより児童・生徒向けにアンケー トを実施して決めた方がよいと思います。
- ⇒今後アンケートを行う方向で調整したいと思います。
- ○緊急時の対応ということで学園内の車や人の動線や、緊急車両の進入路などはどうなりま すか。
- ⇒北学園はグラウンドに近い位置に 2 か所の保健室を設け、南学園もグラウンドに近い位置 に 1 か所ですが広い部屋を設けます。グラウンドへの車両進入経路は両学園ともに入口と 出口を別に設けることでスムーズな運行ができるようにします。
- ○「北方学園スポーツクラブ」の設立について、一つの組織に統一するということは、北学園が南学園どちらか一方のみで部活動を行うことになるのですか。
- ⇒指導体制の強化・充実などを目的に一つの組織となることを目指しますが、実際の活動は 例えば平日の練習はそれぞれの学園で行い、休日や大会が近くなった時には合同で活動す るようなイメージになると思います。
- ○ⅠCT化や英語教育について具体的な取り組み方針はありますか。
- ⇒ICT教育においては今年度導入したタブレット端末の活用が中心となります。他市町に 先行してデジタル教科書を導入したほか、「ロイロノート」というアプリを活用して子ども たちの授業への積極的な参加を図ったりしています。また、機器に不慣れな教員への研修 にも力を注いでいきます。英語教育においては昨年度より導入したECF制度で、授業以 外の普段の学校生活から英語に触れられるような環境を作ったり、英語落語会などのイベ ントを活用して英語に親しむことができるようにすることを計画しています。
- ⇒北方町のICT教育に関する取り組みは岐阜県教育委員会も注目しています。今後「IC T実践フィールド校」として他校のモデルケースとなり町の活動が支援される予定です。
- ○防災教育についての取り組みは何かありますか。
- ⇒防災安全課と協力して学校での防災訓練の実施や、避難所としてのダンボール間仕切りな どの物品整備などを行っています。
- 〇北方学園としての連携が大切です。南北の学園同士の情報共有がうまく図られるようなシ ステムを構築する必要があります。
- ⇒岐阜県内では「校務支援システム」の導入が始まっており、北方町でもいち早くシステム を導入して他校との連携ができるシステムを構築しています。
- ○9年一貫の義務教育学校のよさはその多様性にあります。特別支援教室などを含めて、いわゆるインクルーシブ教育への取り組みを深めていって欲しいと思います。

委員長:以上で協議を終了する。開校準備委員会として本日の提案内容について概ね了承することとし、来年度以降の協議につなげていくこととする。

委員長:最後に、その他の事項について事務局に説明を求める。

事務局:事務連絡として、来年度の委員会の日程及び委員の引継ぎ等について説明する。

委員長:以上で本日の会議を終了する。(11時15分終了)